



## 総会・講演会を開催

当フォーラム総会を、4月21日、秋田市立中央図書館明德館研修室で開催しました。総会には会員14名と、顧問団体から2名、事務局から5名が出席し、昨年度の事業報告と収支決算、今年度の事業計画と予算について審議しました。



また総会ののち、秋田市内で外国語の俳句に関する活動をしている国際教養大学のアレクサンダー・ドーリン教授と、秋田国際俳句・川柳・短歌ネットワークの蛭田秀法事務局長を講師にお招きして、講演会を開催しました。演題は、ドーリン教授は「古典俳句遺産と世界の俳句愛好者」、蛭田事務局長は「インターネットを通じた世界との俳句交流と、ウラジオストックでの俳句交流」で、秋田を拠点に俳句を通じて国際的な活動をしている両氏の生の声に、集まった聴衆は時を忘れて聞き入っていました。



秋田市友好・姉妹都市交流展（当フォーラム主催）を、11月9日から11日までの3日間、中央公民館（秋田市文化会館）で開催します（予定）。この交流展は平成17年に始まり、今年で8回目を数え、平成21年からはサンパルまつりと同時開催しています。会場では、各都市の写真などを展示します。入場無料。

### 時間

- 11月9日(金)  
午前10時  
～午後5時
- 11月10日(土)  
午前10時  
～午後5時
- 11月11日(日)  
午前10時  
～午後3時



秋田市友好・姉妹都市交流展  
中央公民館で11月9日～11日に開催(予定)

## 会員募集中

当フォーラムでは、随時会員を募集しています。活動は、イベントの企画や運営、情報誌の発行、ホームページ作成などです。どなたでも参加できます。

申し込み、問い合わせはこちらまで

秋田市姉妹都市フォーラム事務局（秋田市企画調整課 国際交流担当）

〒010-8560 秋田市山王1-1-1 TEL 018-866-2033 FAX 018-866-2278 E-mail: ro-plmn@city.akita.akita.jp



# だい む とん こう 「大夢敦煌」秋田市公演 大盛況

敦煌を舞台にした大型歌舞劇「大夢敦煌」が、9月2日から4日まで、秋田市文化会館大ホールで開催されました。「大夢敦煌」は、蘭州市に本拠を置く蘭州歌舞劇院が2000年に制作したモダンバレエの大作で、世界各地の公演で好評を博しており、今回の来日で通算1000回目の



公演を達成しました。総勢100名からなる一行は、公演前日の1日に秋田駅に到着、徹夜で舞台の準備をしたのち、翌日の公演を迎えました。4回行われた公演はいずれもほぼ満員で、会場を後にする観衆からは口々に感嘆の声が聞かれました。



なお、この事業は、秋田市と蘭州市の友好都市提携30周年記念事業の一環として行われました。

## 医療研修員、いらっしやい！

今年も蘭州市から医療研修員として、張継青さんと韓晶晶さんのお2人が来秋します。10月下旬から2ヶ月間、それぞれ市立総合病院の麻酔科と循環器内科で研修を行います。

医療研修は昭和59年に始まり、これまでに40人を超える医師が秋田で研修を受けました。その積み重ねにより、蘭州の医療技術は分野によって高い評価を受けているとか。今回の研修の成果も、蘭州市民のために役立つといいですね。



蘭州市の小学生軟式野球交流団が、8月8日から10日まで、秋田市を訪問しました。一行は、蘭州市の中心部、西固区にある蘭煉第2小学校の選手13名と、監督、コーチなど4名で、秋田市内小学校選抜チームと旭川小学校チームを相手に八橋球場で交流試合を行いました。旭川小学校チームとは試合後に太平山自然学習センターまんたらめで一緒にキャンプファイヤーを行うなど、交流を深めました。

この事業は、秋田市と蘭州市の友好都市提携30周年記念事業の一環として行われました。



## 姉妹都市提携20周年を記念して ウラジオストクを訪問しました

秋田市とウラジオストク市の姉妹都市提携20周年を記念して、石井副市長をはじめとする代表団一行6名が、6月30日から7月2日までウラジオストクを訪問しました。今年は閉鎖都市だったウラジオストクが開放されてから20周年の節目の年でもあり、7月2日の記念日に開催された祝賀行事には、アメリカのサンディエゴ、中国の延辺や長春、韓国の仁川といったウラジオストクの姉妹都市の方々とともに秋田市代表団も参加しました。



その後、8月にはウラジオストクから代表団が来秋し、竿燈祭りを存分に楽しんでいただく予定でしたが、APEC首脳会議を控えてウラジオストクを離れることができず、訪問は残念ながら中止となりました。ウラジオストクの皆さん、次回はぜひ秋田に来てくださいね！



## ■ キナイ半島郡訪問記

池田 玲子

7月25日から8月1日まで、交流合意都市提携20周年を記念して、市長をはじめとする市関係者7名と秋田アラスカ・キナイ会募集の市民訪問団10名が全行程同行し、キナイ半島郡を訪問しました。

7月、私の頭の中は、ホームステイのドキドキとサーモン食べるゾのワクワクの毎日。そんな時、現地での「提携20周年記念歓迎レセプション」で、女性陣7名が扇子を手に、浴衣姿で「さくらさくら（童謡）」の日舞(?)を披露するという話が持ち上がりました。秋田出身の女優、浅利香津代さん直接のご指導で、立ち振る舞いなど基本動作からの手ほどきは厳しいものでした。感謝。しかし素人が簡単に出来るものではなく、お弟子さんの動画で自主練の日々。いつしか私の頭の中は「さくらさくら」で一杯。

7月25日。緊張感と不安を携えて、秋田空港から出発。不安と言いながら機内食は完食。日付変更線を越え無事アラスカ空港に到着。提携20周年を迎えた両市ですが、それ以前から両市の架け橋として交流にご尽力をいただいている靖子レティネンさん、ナヴァーキナイ半島郡代表市長、アラスカ州政府関係者やアンカレッジ市長、在アンカレッジ領事など多くの人が私たちを出迎えてくれて、空港内で歓迎レセプション。感激。

26日。「歓迎レセプション」で、AKO・7（エーケーオー・セブン）あきたおばこズ）登場。「さくら♪〜」何とか2分間余り踊りきりました。出席の皆さんには、大変喜んでいただきました。歓喜。

そして、その夜からドキドキのホームステイの始まりです。ホストファミリーはロシア人御夫妻。かつて柔道に似た「サンボ」という競技をやっていたグレゴリーさんと絵画が趣味のオルガさんです。「イクラ」はロシア語も日本語も「イクラ」という話から盛り上がり、ロシア語のイエスは「ダー」なので秋田弁の「ンダ」を教えました。今も覚えているかしら。ロシアへの秋田犬贈呈も話題に。



27日。オルガさんと東日本大震災の話になりました。テレビのニュースではなく、当日のUチューブで悲劇を知ったそうです。秋田の被害は太平洋沿岸ほどではなかったこと、キナイ半島郡の皆さんから秋田市への寄付金のお礼を述べましたが、アラスカ沿岸への日本の漂着物の新聞記事（切り抜きを持参）のことは、アラスカ州の東側で知らなかったようです。

28日。ソルドトナ市のプログレスデイのパレードには訪問団全員が浴衣姿で参加。ナヴァー市長運転のオープンカーに穂積市長夫妻と小木田議長が乗り、パレードの先頭です。私たちは、その後ろを時々走りながら、沿道の観客に竿灯の団扇やキャンディを配り、笑顔で手を振って、秋田を日本をしっかりとPR。わが訪問団は、パレードの団体部門で優勝。感嘆。

その夜でホームステイも終わり。3泊4日は楽しい日々でした。サーモンやイクラ料理は美味しく、持って行った以上にたくさんのお土産を持たされ、アメリカとロシアの二か国を知ることができました。感涙。

8月1日。無事秋田空港に到着。やっぱり生まれ故郷はいつすなあ〜。

今回の訪問では、キナイ半島郡の皆さんに大変お世話になりました。ナヴァー市長はじめ市関係者、ホストファミリーの皆さん、そして靖子さん、パトリックさんとアンディさんには全行程、同行いただきました。市と市民のボランティアのおかげで、キナイ半島郡がより身近な存在となりました。

皆さんが来日・来秋した時には、熱烈歓迎です。市民ボランティアとして積極的に交流に関わりたいと思います。

国際交流は大げさなものではなく、状況に応じた気配りと、小さな集まりでも規則順守が大切なことも痛感しました。これからもキナイ半島郡の皆さんとの交流がずっと続きますように。祈念。



日露  
俳句大会  
9月下旬に  
開催

日露俳句大会が、秋田とウラジオストクの両市で開催されます。秋田大会は9月22日にジョイナス、ウラジオストク大会は9月29日にウラジオストク日本センターを会場にそれぞれ開催されますが、秋田にはウラジオストクから、ウラジオストクには秋田市から、互いに2名の俳人が参加します。大会当日は、記念講話のほか、吟行、発表会などが行われます。

秋田大会の主催は、秋田国際俳句・川柳・短歌ネットワークで、事務局長の蛭田さんは当誌インタビュー記事や当フォーラム講演会でもおなじみです。顧問のドーリン教授も講師として参加します。今号は残念ながら記事が間に合わないため、次号で改めて詳しくお伝えします。

## 投稿・持ち込み企画歓迎

当誌では、国際交流にまつわる記事の投稿や持ち込み企画を歓迎します。過去に掲載された記事は、行事のお知らせ・報告、対談、外国人住民インタビュー、友好姉妹都市の紹介、旅行記、体験談、エッセーなど。あなたの思いを表現して伝えてください。編集投稿、問い合わせは事務局まで。